



サポートネットのコロナ禍 ～就労部門から

新型コロナウイルスが日本で確認され、一年が経とうとしています。緊急事態宣言の延長が決まりましたが、他者への感染が広がらないよう、またその中でも生活の質が保てるよう、各事業所においても様々な対応、配慮、工夫がなされていると思います。今回は当法人の就労部門のコロナ禍の対応についてお伝えします。

●“密”回避の難しさ

どの事業所でも共通している点は、徹底した感染防止対策です。マスク、手洗い、消毒、検温、換気、ソーシャルディスタンス…etc。

中でも対応に苦慮するのが“密”状態の回避。「地域活動支援センター 朋友舎」でも限られたスペースにどの程度までの人数がいることが適当なのか。多すぎれば密になり、少な過ぎると作業所として立ち行かない。現在も悩みながらもすすめていくというのが現状です。

●売上減、それでもなんとか…

「クッキーハウス ぶどうの木」では、公共施設や飲食店への定期的な納品が売り上げの大きな要因になっています。しかし、納品先の来客が減っているため、ぶどうの木での売り上げも落ち込んでいます。

ランチメニューを提供する「キッチンハウス あしたば」でも来客が減少。第2波の際は感染防止のためお店を閉め対応。現在は感染対策を施したうえで営業していますが、それでもまだ客足は遠のいています。第3波の現在が一番底の状態。それでもお弁当の提供で売り上げをなんとか維持しています。

「御用聞き屋 べんぞう商店」では主な収益の一つは牛乳配達。固定客があるため大きな減収はなく、業種・業態によってコロナの影響に違いがあるのが窺えます。

shop date



地域活動支援センター

朋友舎

タオルたたみ、野菜販売、内職作業、レクリエーションなど趣味活動。(白樺 16 条東 1-1)



クッキーハウス ぶどうの木

クッキーなどの焼き菓子の製造、ラッピング、洗い物、掃除などの作業。(東 3 条南 6-1-3)



御用聞き屋

べんぞう商店

店舗販売での接客、会計、品出。牛乳の受注、販売。各種御用聞き。(東 2 南 6-2-6)

●メンバーの不安

メンバーの不安も募っています。まずは自身へ病気が感染するのではという不安。そして工賃がどうなっていくかという不安です。

市役所で販売等を行っている「ショップぴあ」。こちらもスタッフ人員を抑えて営業しています。普段はシフトで勤務を組んでいますが、いつもより勤務日が減ってしまい工賃が下がってしまう。また時給も下げざるを得ない状態になっています。

●見通しを持ってもらえる支援を

メンバーはテレビニュースなどを見て、コロナウイルスがどういった病気なのか概ね理解されています。しかし、実際もし自身が感染したらどうしたらいいのか、どこの病院に行って、どういった行動をとればいいのかという、個別具体的なことに不安を感じ、また情報も得られていない印象です。

スタッフが市 HP から受診できる病院一覧を配るなどの情報伝達に努めていますが、有事の際に彼らに、“どういった情報を”“どの程度整理し”“どういった形で伝える”ことがよいのか考える機会になっていると思います。

●あの日に戻れるように

コロナ禍以前に行われていたことや予定していた事業が今年度は全くできていない状況です。作業以外に行われていたレクリエーションもできていません。

緊急事態宣言が延長されますが、おそらく春になれば季節的に感染が落ち着くでしょうし、ワクチン接種でさらなる低下が見込まれます。あの日に戻れるまであと少しと、希望を持って支援をしていきたいものです。

shop date



ショップ ぴあ

市役所売店、ワゴン販売での接客、会計、品出、庁舎内ゴミ回収など。(西5南7-1 帯広市役所地下1階)



キッチンハウス あしたば

喫茶店の運営に伴う作業、お弁当作り、手芸、レクリエーションなど趣味活動。(西3南4-4-1)

GHの空室情報～ 2階部屋-2室 1階部屋-2室 空室あり。詳細はご相談下さい。

～新年を迎え～
Staff Column

理想を追い！

実録・我流ソーシャルワーク

職員コラム

当たり前の話だ。志を持ってこの仕事に足を踏み入れた者は、皆そう思って日々を過ごしてゆく。しかし実にあっけなく、その夢は砕かれる。組織のしがらみにより、世間の壁により、制度の仕組みにより、自分の人間性の未熟さや経験の浅さにより、人間関係の軋轢により。

何より私たちの相手である生活障害を背負った当事者たちとの波長の合わなさによって心が折れるのだ。これが一番痛い。

私たちの仕事の軋みは全て、私と他者との関連の中にある。「ソーシャルワーカー＝いい人幻想」なんか捨ててしまえ。君は何をしたいのだ？自分は何者なのか？をいつも問わ

れ続ける。だが例え、心が揺らぎ、たたらを踏み、心が空に飛ばされそうになっても理想を追うのだ。

良き友人や先輩を作り、真似をし、当事者との仕切り直しを何度も繰り返し、小さな成功体験を積み重ねて理想を追うのだ。小さな嘘ぐらいは許す。泣き言を言ってもいいではないか。ソーシャルワークだけが人生の全てではない。しっかり食べて、笑って、語って、泣いて、たまには酒に飲まれ、夜遊びもいい。悔しさ、一時の諦めも、いたたまれなさも、痛みも、失敗も全て希望のためのプロセスだと信じて一。

だから・・・理想を追い！自分の物語を創るのだ。と、・・・思いたい。